

昭和九年度

不屈の闘魂敵陣を圧倒

——早慶の緒戦を飾った岡崎俊祐の偉勲——

兼子 辰夫

霜月というのに、網町道場にはムンムンした熱気が立ちこめている。復活第一回早稲田高等学院対慶応予科高等部柔道戦を旬日に控えて、百名近い部員の稽古は一段と気合いが掛っている。正面上座に端座した飯塚国三郎師範の鋭い眼差が選手の上に注がれる。中野正三師範は次から次へと選手の稽古で流汗淋漓。柔友会長金沢冬三郎氏を初め、中野栄三郎、岩崎清一郎、阿部兄弟（大六、英児、芳郎、秀助）、岩崎三郎、五島三雄その他十指に余る先輩もつめかけて、漸く士気は昂って来た。選手二十名を中心に、十月末から三田の春日館に合宿して連日猛稽古が続けられている。試合が近づくにつれて、早稲田の選手一人一人の技の研究やその対応策も具さに練られた。二十名の選手は、連日の猛練習で一樣に贅肉がおち、眼光だけが炯々として殺気さえ感ずる位だ。早慶對抗戦にかける悲壮な決意のほどが窺える。副将に擬せられておった毛利松平は、岩崎三郎先輩（三菱商事）との稽古で、右肋骨二本を折って入院。主将岡崎俊祐は、一段と頬の肉が落ちて顴骨が突き出たようだ。陣頭に立って猛稽古を続ける岡崎なのだが、このところ一向に技が冴えない。どうしたことかスランプなのだ。漸く心の焦りが見えるようだ。

岡崎は九州修猶館中学出身の豪快真摯な熱血漢、柔道は夙にその俊英ぶりが謳われた。当時岡崎は、麻布にあった

村上徳太郎主宰の東光書院に塾生として起居しておった。これがため、合宿先の春日館には宿泊りしなかつた。東光書院の日常は、五時起床、全員で書院内外の清掃を行った後、漢籍仏典等の講義と座禅とが隔日交互に行われ、終つて「五観の偈」を唱和して朝食を採るのを常とした。

早慶戦当時は、「無門関」の講話を終えて、王陽明「伝習録」の講義が行われておった。夕餉を終えた岡崎が朗々と吟ずる王陽明「歌々吟」が想起される。

知者は惑はず、仁者は憂へず、

君胡んぞ戚々として雙眉愁ふ。

歩に信せて行来す、皆坦道、

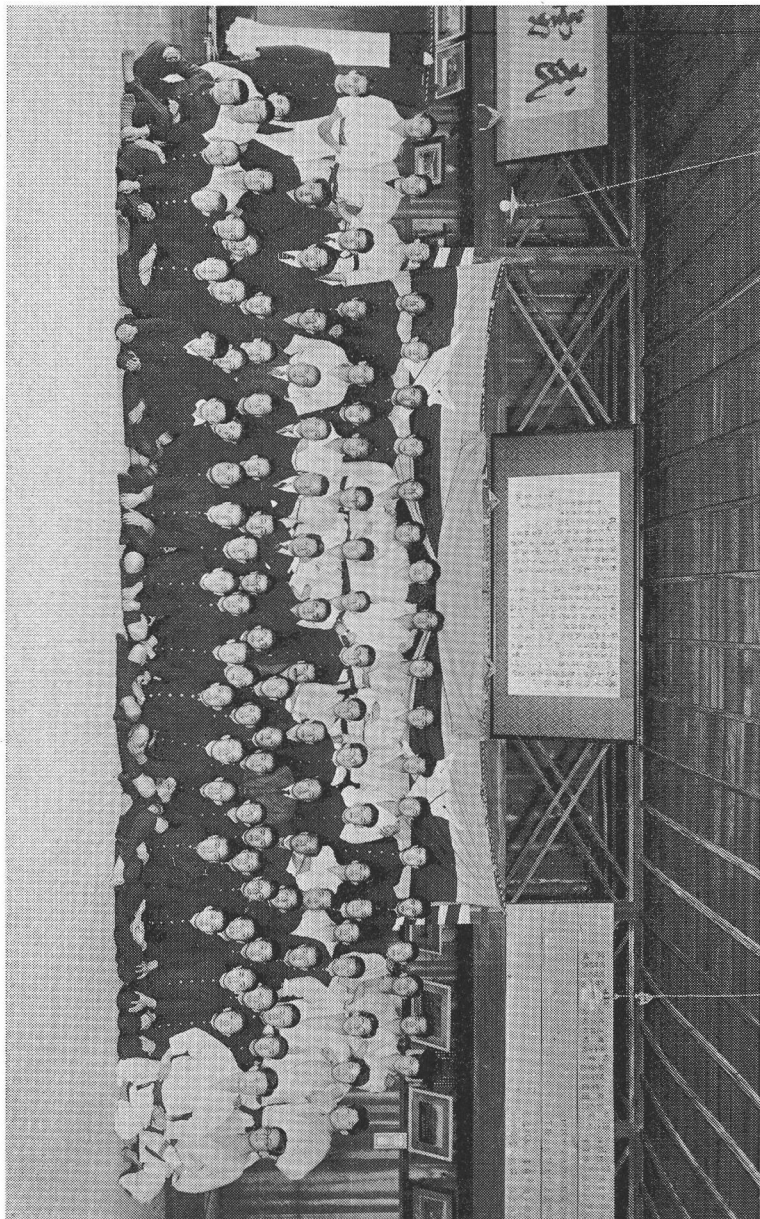
天に憑りて判下す、人謀に非ず。

その岡崎が早慶戦を目前にして体調をこわしている。而も当時人生問題に悩み、また経済問題でも苦慮しておったらしい。かてて加えて柔道はスランプ、「悪条件が重なり合っている。塾の名誉にかけても勝たねばならない早慶戦だ。全塾の期待がかかっている。一髪軽からず、慶応軍を率いる主将の責任は重い。岡崎の懊悩苦悶は蔽い難いものがあった。

復活早慶戦の交渉には、早稲田から青山、尾崎、三田が出、慶応側は小西和夫、近藤漸、古屋幸三が当った。人選と人数の決定にはかなり苦労したらしい。かくて早慶戦を迎えたのである。

昭和九年（一九三四）十一月十八日（日）午後六時、早稲田吉川部長の挨拶によって試合は開始された。講道館正面には読売新聞社寄贈の優勝旗が飾られ、審判は橋本正次郎七段である。

慶応軍は大將四段岡崎俊祐以下三段四名、二段十二名、初段三名。早稲田軍は大將四段永光 伝以下三段四名、二



昭和九年卒業生送別大会記念

段十一名、初段四名。双方二十名宛堂々の陣を張つての対戦である。懸念された岡崎の面上には、この日凛々たる英気が漲っていた。

先づ先鋒和田徳藏初段、左大外の威力を發揮して早大坂本初段を仕留めるかと思われたが、惜しくも大外返しに敗れ、次いで水之江公英初段、氣負つて右内股にゆくも、坂本頑張つて引分けとなる。次に木下三八郎上背うしせに物を云はして右大外、体落を連発、見事体落で早大の山内三郎を葬り、引続き大池初段と対したが引分けとなる。次いで立った早稲田の山田初段に、笹間、関の両二段が夫々合せ技で惜敗。これを見て奮然立った横田作弥二段は、背負い、釣込腰と積極的に立向うが決定技に至らず、山田頑強に抵抗して引分ける。期待した熊谷喜徳二段の右跳腰もその威力を發揮し得ぬままに神野二段の上四方固で敗れ、復讐に立った菅井良祐二段、左跳腰、大外刈、右小内刈と連続速攻するも奏功するに至らず、神野二段よく粘つて引分けとなる。四対一となった慶応軍の顔勢を挽回せんものと奮い立った三野守亮二段は、立上り早々双手刈の早業で、早稲田側二段最強の巨漢鈴木正を倒し、そのまま崩上四方で押え込み勝星を挙げたが、次いで立った早大の俣丈夫村山武司二段に頑張られて惜しくも引分けとなる。次に本間太郎二段、修猶館出の坂本政雄二段の積極的な攻めにもよく粘つて引分ける。

かくて前半は四対二と早稲田軍の優勢を示した。顔勢転換を期して奮起した中堅小西和夫二段は、小兵ながら俊敏な業師、期待に違わず、大外返し、体落到天野、笠原両二段を降し、漸く互格に持ち込んだ。

ここで早稲田軍は、屈強な二段勢の青山、尾崎、岡庭おかばを陣頭に送つて次第に慶応軍を蚕食して行った。即ち中堅青山二段は、小西と揉み合つた挙句袈裟固に、また森本を背負に降し、次いで立った近藤二段を釣込背負に降した。近藤の跳腰には期待がかけられたのであるが、場外に出て廻り込むときに不覚を取つた。ここでいささか疲労した青山に、敢然立ち向つた慶応の北川正治二段は、右背負に攻め立て、ついに合せ技で青山を降す。次いで立ったのは早稲田

中堅の雄 尾崎稀穂二段。北川むんづと四つに組んで渡り合ったが、惜しくも内股巻で敗れ、吉田重成二段も亦払巻で惜敗する。尾崎何ものぞと憤然立った羽鳥忠久三段、右大外に仕留めんとするも、尾崎よく頑張り引分となる。慶応軍形勢悪し。気色ばんだ鳥海又六郎三段立つや釣込腰の河原田二段を見事右跳腰とばす。次いで躍り出た早稲田中堅の剛将岡庭二段、鳥海の跳腰をはしとかわしたと見るや寝技に引込み崩上四方に押え込む。ついで古屋幸三三段を釣込腰に降し、慶応軍副将塩田雄一三段と対峙する。本陣に斬り込まれた塩田には、是が非でも頑勢を挽回しなければならぬ重責がある。ここを先途と得意の寝技へ引込まんとするが、岡庭の頑強な抵抗に遭って引込み得ず、無念にも引分となる。

かくて、絶対絶命、慶応軍はついに大将岡崎四段が立った。早稲田軍は六将の山田貞穂二段である。よしんば山田を葬ったとしても、大将永光四段までは山岳聳立、中間に屈強な三段四名が闘志を燃やして立ちはだかっている。大勢は既に決したやに見えた。慶応席は固唾を呑んだ。早稲田席からはやんやの声援である。闘志に燃えて奮然立った大将岡崎の双肩には、慶応義塾の榮譽と責任が懸っている。撃ちてしままん気概に燃えて、掛声勇ましく立ち上った岡崎の姿は、仁王にも似た姿だ。岡崎日頃の修練は、東光書院の修業も、道場に於ける稽古も、すべては今日のためのものであったのかも知れない。母校の名誉にかけても勝たねばならない。勝つこと以外は何ものも考えられない。闘志闘魂、「擬ては百鍊の鉄となり、銳利兜を断つ可し」。不拔の闘志に燃えて岡崎は立ち上った。山田貞穂二段は寝技の雄である。岡崎は、はしと組むや問髪を容れず右内股で投げとばしたが、惜しくも場外でノーカウント。山田の作戦は、ただ頑張って引分ければよいのだ。勝利は目前だ。腰を引いて突張っている。岡崎には次第に焦りが見えてくる。やがて十分は過ぎた。「しばらくで引分」が橋本審判から宣せられた。山田は引分に持ち込む意図歴然。頑強に突張って逃げまわる。岡崎はいよいよ焦る。満身汗だくだ。足払、大内、小内、内股、跳腰と挑むが、山田の強引

な抵抗に遭って空ぶりが続く。時間が迫った。時間がない。タイム係の手が動いた。焦りに焦って連続技を掛けておった岡崎の動きが一瞬停った。一呼吸また一呼吸、勝負を断念したのか。また呼吸を整えているかの如くにも見える。万事休す。最早これまで。と思いきや電光一閃、瞬間ひらめく内股の早技、見事にきまってる山田の体は宙にとんだ。同時に鐘がなった。危機一髪のところだ。正に神技というべし。固唾を吞んで見まもっていた慶応陣から堰を切ったようにドツと歓声が挙った。

それは、焦りと怒りに猛り立つた岡崎に、瞬間冷静さが蘇ったのだ。平常心を取り戻したのだ。豁然とひらけた無我の境地。そして呼吸を整えると見るや、乾坤一擲、心技体一体の妙技が発揮されたのである。

次いで立った五将細川三段が、大内刈でくるところを小外刈にかえして庄勝、続く今井三段を十字固（腕ひじき）に、鈴木三段を鮮かな右片手内股に、そして副将三田三段を大内返しにと、飛廉の早技で薙ぎ倒していった。まさに闘魂の権化だ。そして終に大将同志の対戦へと漕ぎつけたのである。

副将以下六将まで殲滅されたことにいきり立った早稲田の大将永光四段は、怒気を満面に浮かべて阿修羅の如く岡崎目がけて攻め立てる。体落、釣込腰、岡崎の体は宙に浮くが、そのまま永光の腰にぶら下るようにはしておかなくて脳震蕩を起したらしい。様子がまともでない。ただ気力で組んでいるが如くだ。ついに時間が来た。両将何れも見ろべき決定技がなく、引分が宣せられた。橋本審判の「それまで」の宣言に、早稲田の大将永光は、口惜しさのあまり、道場の真中にうつ伏せになって男泣きに泣いた。全身の力を出しつくした慶応軍の大将岡崎は、試合終了の宣言と同時に、精根つけてこれまた道場の中央近く仆れて意識を喪った。危機を救った岡崎の敢闘によって優勝旗はついに預りとなったのである。選手控室に担ぎ込まれた岡崎は、三、四十分して漸く意識を回復したが、岡崎の脳裡に

は試合経過の記憶が残ってなかった。ただ一念、「母校の勝利の爲めに」の闘魂が、「斃れて後已む」の闘志が、岡崎をしてかくも敢闘させたのである。柔道史上燦として輝く岡崎の奮戦偉功を称えて、後日柔友会長金沢冬三郎氏から正宗の名刀が贈られた。

好漢今や亡し。彼は大東亜戦争緒戦に出陣してボルネオ上陸作戦に参加し、昭和十六年十二月二十四日クチンの激戦で壮烈な戦死をとげた。恐らくは、軍刀振り翳し、先陣切って敵陣に擲り込み、護国の華と散ったであろう岡崎小隊長の雄姿が偲ばれる。——あたかも吉野山上万朶の花、一朝にして風陣に散り逝くが如く——

毛利松平に宛てた戦線からの岡崎の便りが残っている。

——(前略)——当方昨今御想像通り緊張、今や〇〇を前に〇〇中です。武運あらば次便は何れの処からか。緊禪一番、男度胸にて突進さ、永久に御自愛御奮闘を祈る。——

(昭和五十二年四月初誌)

役員

部長 柴田一能
 師範 飯塚国三郎
 " 中野正三
 " 加藤靖夫
 幹事 安東喜四夫
 " 五島勇雄

寒稽古

一月十四日より二月三日まで毎朝五時より七時まで、
 網町道場で行われた。この記録は普通部の記録にのみ残
 っている。それに依ると普通部生として精勤した者、守
 谷二郎三級、玉木徳七四級、羽鳥輝久四級とある。

進級月次試合

一月二十四日

九級の部

4	3	2	1	
小沢栄一	岡田英次	岩田秀雄	岩田秀雄	
引分	引分	大外返	引分	
		○岡田英次	富田芳雄	
	藤瀬喜久雄	小沢栄一		

八級の部

6	5
林進	藤瀬喜久雄
大外返	引分
○外山慶治	

七級の部

7	6	5	4	3	2	1
守谷育介	染谷公	金安	△金安信太郎	加藤正男	木崎匡一	小川常一
引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分
			△守谷育介	飯田英夫	小川常一	加藤正男

六級の部

6	5	4	3	2	1
谷村嘉一郎	齋藤誠一	横田繁三郎	山本備	鳥海志郎	鳥海志郎
大外刈	引分	小内刈	引分	引分	引分
○高木慶三郎	○谷村嘉一郎	○齋藤誠一	○横田繁三郎	○山本備	○針生俊雄

4	3	2	1
○松本善治郎	野原好三	秋元栄三郎	山崎門次
大外刈	引分	引分	大外返

四級の部					五級の部														
4	3	2	1	5	4	3	2	1	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
飯倉重任	玉木徳七	松本達雄	中島譲治	大西栄一	児玉一男	神浦滋太	石渡顕一	有川健夫	佐野繁	磯辺晃平	酒井章夫	仁村康弘	鈴木康吉	神谷博八郎	長井誠太郎	黒川正男	榎本孝一	阪本和明	松本善治郎
引分	引分	合技	背負投	釣込腰	小内刈	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	合技	引分	引分	引分	引分
杉本健造	飯倉重任	○玉木徳七	○松本達雄	○羽鳥輝久	○大西栄一	児玉一男	神浦滋太	石渡顕一	大角輝雄	佐野繁	磯辺晃平	○酒井章夫	仁村康弘	鈴木康吉	○神谷博八郎	長井誠太郎	黒川正男	榎本孝一	阪本和明

の如し。

平素の勉励と進級月次試合の成績に依り進級せし者左

一月二十五日

二級の部					三級の部												
6	5	4	3	2	1	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5
猪谷甫	菅原誠	○菅原誠	内海	○内海	内海啓勝	金沢壮二	神浦濤太	須賀明数	△須賀明数	大塚誠	笠原慶太郎	宇田達	加藤	○加藤信三	岡田健太郎	杉本健造	
引分	引分	崩上四方	送襟絞	袈裟固	足弘	引分	引分	引分	引分	腰投	引分	引分	引分	合技	合技	背負投	押込
菅原正幸	○菅原正幸	○猪谷熟	○勝丸誠	○菅原誠	峰岸豊雄	須賀明数	金沢壮二	神浦濤太	守谷一郎	○山岡嘉也	大塚誠	笠原慶太郎	宇田善男	鈴木善男	玄田権七郎	○加藤信三	○岡田健太郎

卒業生送別試合

四級へ 大塚 誠、松本達雄、鈴木善男、山岡嘉也
 一級へ 猪谷 甫、菅原 誠

幼年組

横田	○横田	玄田	針生	荒木	藤野	鳥海	○鳥海	外山	○外山	加藤	金安	田中	小川	清水	先鋒	紅
	繁三郎	権七郎	俊夫	茂	陽一		志郎	慶治	正男	信太郎	久光	栄一	守			
引分	引分	引分	引分	合技	大外刈	引分	大腰	引分	内股	引分	引分	合技	引分	引分	引分	先鋒
玉村	中須	山本	松坂	○松坂	○松坂	飯田	染谷	木崎	松内	林	石渡	○石渡	富田	長谷川	白	
禎男	四郎	禎		進	進	英夫	公一	匡一	浩	進	二	雄	博			

二月十一日

成年組

○玄田	中島	山岡	○山岡	大塚	先鋒	紅	大将	神浦	副将	○兒玉	兒玉	中村	有川	○有川	大角	神谷	榎本	松本	○松本	秋元	黒川	野原	山崎	谷村	
権七郎	譲治	嘉也	嘉也	誠			太	太	一男	次	雄	健夫	輝雄	博八郎	孝一	善治郎	三郎	正男	三男	好三	門次	嘉一郎			
押込	引分	大外刈	合技	大外刈	先鋒	不戦	引分	大内返	副将	○永田	永田	石渡	木村	鈴木	酒井	○酒井	仁村	中沢	加藤	内海	早津	引分	引分	引分	大外刈
玉木	羽鳥	立岡	立岡	白	白	渡辺	永田	幸治郎	顯一	太郎	康吉	太郎	章夫	弘	信夫	健造	昭勝	富司	正	誠一	高木	高木	慶三郎		

武藤	武藤	武藤	副将 鈴木俊吉	野田倉三	野田倉三	清川晃	清川晃	中村仙一郎	中村仙一郎	乳井健一	岡島龍吾	久繁善則	山田房夫	立脇忠命	立脇忠命	山田清三	加藤信三	越後谷一郎	湯地貞俊	玄田	玄田
釣込足	大腰	釣込足	合技	跳腰	一本背負	釣込腰	合技	引分	絞技	釣込足	引分	小内刈	引分	大外刈	背負投	引分	押込	引分	引分	引分	押込
大将	副将	大将	菅井	菅井	菅井	白井	白井	関田	横田	内海	内海	杉原	杉原	谷	内海	松内	松内	守谷	宇田	須賀	杉本
山本	近藤	山本	井良助	井良助	井博	井博	井博	作弥	作弥	勝正	勝正	雪夫	雪夫	徳藏	啓勝	則明	則明	一郎	達	明数	健造
繁太郎	漸	繁太郎																			

九級の部

進級月次試合

二月二十三日

平素の勉勵と紅白試合の成績に依り進級せし者左の如し。

五人掛全勝	五人掛全勝	燕返	箱田玄輔(2)
中野正三六段	五島勇雄	大外返	羽鳥忠久(2)
〇横捨身	〇跳腰	〇釣込足	長沢金次郎(3)
〇釣込足	〇体落	〇釣込足	佐久間知三(3)
〇釣込足	〇釣込足	〇釣込足	岡崎俊祐(4)
大沢克夫(劔)	関山正(劔)	阿部泰介(2)	
古屋幸三(2)	秋山幸三(2)		

九級へ 清水守、長谷川博 八級へ 石渡英一

七級へ 金安信太郎、外山慶治

六級へ 横田繁三郎、高木慶三郎

五級へ 酒井章夫 四級へ 立岡豊吉

三級へ 湯地貞俊 二級へ 山田清三

六級の部						七級の部				八級の部								
6	5	4	3	2	1	7	6	5	4	3	2	1	4	3	2	1	2	1
○黒坂川正男	坂本	○坂本	○坂本	山崎門次	横田繁三郎	梶坂芳雄	松坂進	荒木茂	○荒木茂	山本儔	金安信太郎	外山慶治	石渡英二	磯部春保	加藤正男	小川常一	○長谷川博	清水守
引分	引分	大外刈	大外刈	背負投	釣込足	引分	大外刈	大外刈	引分	引分	引分	引分	大外刈	引分	引分	大外刈	合技	引分
内海昭勝	黒川正男	野原好三	加藤健造	○坂本和明	○山崎門次	谷村嘉一郎	梶坂芳雄	○松坂進	鳥海志郎	荒木茂	山本儔	△金安信太郎	岡本二郎	石渡英二	磯部春保	○加藤正男	岩田秀雄	長谷川博

三級の部						四級の部						五級の部						
6	5	4	3	2	1	8	7	6	5	4	3	2	1	11	10	9	8	7
中島	○中島	○中島	羽鳥讓治	○羽鳥輝久	立岡豊吉	永田幸治郎	神浦	○神浦滋太	木村太郎	中村雄次	大角輝雄	酒井章夫	酒井章夫	神谷博八郎	○神谷博八郎	中沢信夫	松本善治郎	黒川
引分	内股	内股	引分	跳腰	跳腰	左背負投	袈裟固	大外返	引分	引分	引分	引分	引分	引分	技不明	足弘	引分	引分
△杉本健造	大塚誠	山田嘉也	中島讓治	石井幸太郎	○羽鳥輝久	○児玉一男	○永田幸治郎	有川健夫	神浦滋太	木村太郎	中村雄次	大角輝夫	石渡顯一	磯辺晃平	齋藤誠一	○神谷博八郎	中沢信夫	△松本善治郎

二級の部		三級の部		四級の部														
2	1	2	1	8	7	6	5	4	3	2	1	11	10	9	8	7	6	5
内海	内海啓勝	湯地貞俊	乳井龍二	羽鳥	羽鳥輝久	中島讓治	玉木徳七	永田	永田幸治郎	児玉	児玉一男	石渡	石渡	石渡	窪田羊三	木村太郎	村中	村中淳治
引分	引分	引分	体落	大外刈	釣込腰	引分	引分	小内刈	大内返	袈裟固	大外刈	引分	引分	送襟絞	大外巻	引分	引分	大外刈
立協忠命	菅原正幸	守谷一郎	湯地貞俊	小坂俊雄	杉木健造	羽鳥輝久	中島讓治	玉木徳七	立岡豊吉	永田幸治郎	大塚誠	有川健夫	渡辺徹夫	神浦濤太	石渡頭一	窪田羊三	木村太郎	酒井章夫

平素の勉励と進級月次試合の成績に依り進級せし者左の如し。
四月二十八日

八級へ 小沢栄一、竹内作治

七級へ 岸田睦夫、野村正吉

五級へ 中沢信夫、仁村 弘、松本善治郎

四級へ 石渡頭一

一級へ 立脇忠命

普通部対明治学院對抗試合

五月八日 於 綱町道場

試合経過の概要 明治学院の希望により、十七名にて試合す。篠原、山崎、村中等の奮戦によって大将を残して勝つ。

普通部

明治学院

先鋒 篠原恭敬

大外刈 先鋒 松江

篠原

合技 木原

篠原

大外刈 李

太田三四郎

引分 赤城

山崎 泰

大内刈 塚原

山崎

内股 鈴木

山崎

押込 山口

高木慶三郎

足払 〇字和川

山崎

〇字和川

幼年組

紅

大島精一

引分

岡本三郎

白

新入部員歓迎春季大会

五月十三日

大将	副将			羽鳥	羽鳥	渡辺	渡辺	石渡	窪田	村中	村中	村中	鈴木	神浦	仁村	檜崎
永浜	小坂	玉木	永田	鳥輝	鳥輝	渡徹	渡徹	頭一	羊三				木康	浦法	村弘	崎正
庄次	俊雄	徳七	幸治郎										吉治	太弘		
	引分	引分	大内刈	大内刈	釣込腰	引分	押込	引分	一本背	絞	足弘	小内刈	押込	引分	押込	引分
	大将		庄	庄	田	渡	新	乾	乾	乾	鈴木	三好	三好	田中	田中	宇和川
	迫尾				沢	辺	関				木					
					初	初	初									

○谷村	○谷村	木村	長井	○長井	○長井	○長井	丹羽	高田	加藤	堀田	吉田	村越	石原	川頭	市原	市原	瑠璃川	工藤	吉崎	市田	加藤	三雲
		勝雄					英太郎	治郎	康郎	清康	秀雄	義一	久力	力	男	一男	修	祐雄	行雄	弘	勇平	善雄
釣込足	釣込足	引分	首投	体落	合技	大外刈	引分	引分	引分	引分	引分	引分	押込	押込	大外刈	大外刈	大外刈	引分	引分	釣込足	引分	引分
加茂	兒玉	松村	○松村	森岡	渡辺	津田	三戸	小林	中上川	曾田	広瀬	高島	○高島	○高島	○高島	森田	○森田	花房	秋山	○秋山	坂寄	磯宏
忠雄	孝光	泰二	泰二	賢一郎	善五郎	義雄	敏正	健一郎	義一郎	義二郎	寿郎							勝哉	善房	善房	光雄	宏一

○山崎 〇山崎 〇山崎 白井 太田 満留 満留 小田 小田 小田 宮下 恵田 高田 小島 北野 横山 国東 国東 田中 小西 椿島 中島 谷村

和祥 七郎 八郎 隆興 力雄 茂光 久彰 朱明 陽三郎

押込 押込 大外刈 引分 引分 引分 押込 引分 押込 押込 引分 引分 引分 押込 大外刈 浮落 合技 大外刈 引分 大外刈 引分 引分 引分

岡田 井上 西岡 中西 上野 塩山 鈴木 神保 今井 神浦 大塚 長江 馬場 馬場 馬場 馬場 馬場 高橋 田中 田中 森部 安部 金原

太郎 豊明 伝吉 福太郎 武四郎 豊夫 達也 恒彦 濤夫 不知雄 正弘 正二 清三郎 正彦

○高木 早津 早津 早津 早津 谷村 荒木 鳥海 鳥海 藤野 染谷 加藤 清水 清水 林内 竹内 竹内 竹内 横田 島田 岡田 山崎 山崎

慶三郎 富司 嘉一郎 茂郎 志郎 一公 正男 守進 修市 实仁 一

卷込 引分 小内刈 大内刈 大外刈 大外刈 合技 大外刈 合技 合技 大外刈 押込 足弘 押込 押込 引分 大外刈 押込 大外刈 引分 合技 引分 大内刈

玉村 飯田 渡部 外山 岸田 岸田 岸田 岸田 野村 野村 野村 野村 野村 石渡 石渡 川口 会田 調崎 調崎 篠崎 篠崎 田中 寺島

禎男 英夫 博文 睦夫 正吉 英二 隆三 義徳 健二 孝之 常司 清晃

成年組

○中村道雄	○中村道雄	先鋒	○神浦滋太	副將	○有川健夫	木村太郎	○木村太郎	酒井章夫	佐野繁	神谷博八郎	松本善治郎	坂本	坂本	坂本	坂本	坂本	黒川正男	黒川正彦	橋崎誠一	齋藤誠一	高木	○高木	○高木	
押込	押込	先鋒	大内刈	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分
島田穰	小林重太	白	村中淳治	渡辺徹夫	窪田三	窪田三	鈴木康吉	磯辺晃平	仁村弘	内海昭勝	長井誠太郎	榎本孝一	荘英介	太田三四郎	山本	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	松坂俊夫	針生進夫	針生俊夫	

○本間太郎	伊丹正治	谷	○谷	○谷	立脇徳蔵	内海啓勝	峰岸豊雄	○峰岸豊雄	守谷貞俊	湯地貞俊	森岡二郎	○森岡二郎	乳井龍二	○乳井龍二	杉本健造	中島譲治	児玉一男	笠原慶太郎	手塚善康	立岡豊吉	二岡幸	中村雄幸
背負投	大内刈	大外刈	大外刈	大内刈	引分	引分	背負投	足払	引分	引分	大外刈	足払	合技	腰投	引分	大内刈	引分	引分	引分	引分	合技	釣込足
菅原	菅原誠	菅原	○菅原	○菅原	菅原正幸	神浦太	永浜庄次	○永浜庄次	小坂俊雄	羽鳥輝久	玉木徳七	○玉木徳七	永田幸治郎	○永田幸治郎	大塚誠	山岡嘉也	○山岡嘉也	石渡顯一	篠原恭敬	○篠原恭敬	内海康勝	○内海康勝

本間 引分 石橋正記
 副将○近藤 漸 大外刈 副将 森本重利
 近藤 大外刈 ○横田 作弥
 大将 北川正治 背負投 大将○横田

平素の勉励と紅白試合の成績に依り進級せし者左の如し。
 五月十四日

九級へ 大島精一、三雲善雄、岡本三郎、加藤勇平、磯宏一、板寄光雄、市田 弘、秋山善房、吉崎行雄、花房勝哉、工藤 祐、瑠璃川修、市原一男、川頭 力、広瀬寿郎、石原 久、曾田憲二郎、村越義一、吉田秀雄、中上川健一郎、堀田清康、加藤治郎、高田英太郎、丹羽 勤、三戸敏正、津田義雄、渡辺善五郎、木村勝雄、森岡賢一郎、松村泰二、中島陽三郎、児玉孝光、椿 朱明、金原正彦、小西 彰、森 清、田中文一、国東茂、高橋正弘、横山力雄、北野隆興、長江不知雄、小島八郎、大塚富雄、高田七郎、神 法太、惠 祥一、宮下和明、神保達弥、鈴木敏夫、満留保、塩山 豊、中西福太郎、太田五郎、上野武四郎、白井伝仁、西岡伝吉、井上豊明、岡 值太郎、岡田英一、島 仁、寺島昭晃、横田 実、田中常司、篠崎孝之、今井恒彦、安部広三郎、加

八級へ 藤忠雄、森田彊二、小林良
 高島清之助、小田 博、長井謙二、山崎 高、谷村国二郎、竹内修市、馬島 理、林 進
 七級へ 石渡英二、清水 守、加藤正男、染谷 公
 六級へ 鳥海志郎
 五级へ 坂本和明
 丙級へ 小林重太、二谷雄幸、島田 穰
 乙級へ 中村道雄
 甲級へ 手塚善康、内海康勝
 四级へ 篠崎恭敬、神浦宏太、渡辺徹夫
 三级へ 羽鳥輝久、玉木徳七、杉木健造、小坂俊雄

本塾対水産講習所対抗試合

六月九日 於 水産講習所道場

本塾 7 — 5 水産講習所
 先鋒 湯地貞俊 背負投 先鋒○鈴木
 ○内海 啓勝 足弘 山口
 峰岸 豊雄 押込 ○増田
 猪谷 甫 引分 木野
 ○木下 三八郎 大内刈 栗原
 ○立脇 忠命 小内返 橋本

普通部対学習院対抗試合

六月十二日 於 学習院道場

普通部

大将	副将	○菅	○本	内	関	○白	○石	谷
○毛	千住	熊谷	小西	横田	菅原	内海	関井	白石
利松	栄一	喜徳	和夫	作弥	太郎	勝正	博記	橋正
平	引分	大外落	引分	絞技	大内刈	体落	内股	大外車
押込	副将	○有	高木	○永	田村	○内	河合	真野
大将	上野	働	木	田	藤	田	合	野
野中	野中	野中	野中	野中	野中	野中	野中	野中

普通部対日本中学対抗試合

六月十三日 於 網町道場

大将	副将	○羽	○羽	○永	○永	篠原	渡辺	○渡	石渡	神浦	村中
永浜	小坂	鳥輝	鳥輝	田幸	田幸	原恭	辺徹	渡徹	渡徹	浦法	中淳
庄次	俊雄	久	久	治郎	治郎	敬	夫	夫	夫	太	治
不戦	跳腰	引分	引分	釣込腰	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分
大将	副将	○島	○島	○小	○小	富田	五十	○五十	○榊	○榊	伊勢
一条	長崎	津	津	田村	田村	田	風	風	原	原	知

試合の概要 昨日の疲労の為、思う様な動きが出来ず、非常な差となり、小坂、永浜共に初段位の者を相手

進級月次試合

近藤 漸	熊谷 喜徳	山本 繁太郎	小西 和夫	北川 正次	箱田 玄輔	千住 栄一	田中 良平	田中 良平	毛利 松平	古屋 幸三	羽鳥 忠久	鳥海 又六郎	長沢 金次郎	梅沢 正治	梅沢 正治	渡辺 重雄	副将 塩田 雄一	大将 岡崎 俊祐				
引分	引分	絞技	合技	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分				
齋藤 梨	坂 梨	鈴木 木	鈴木 木	伊沢 木	小野 木	井上 野	佐藤 上	菅原 藤	渡辺 原	浅野 野	守田 野	守田 野	守田 野	守田 野	福田 野	福田 野	宮崎 野	永淵 野	押込 花輪	副将 花輪	大将 野崎	野崎

六月十九日

九級の部

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
高田 七郎	松村 泰二	安部 広三郎	堀田 清康	神浦 洸太	太田 五郎	太田 五郎	森岡 清	森岡 賢一郎	岡本 三郎	岡本 三郎	曾田 義二郎	津戸 敏雄	三戸 敏正	花房 勝哉	村越 義一	中島 陽三郎	児玉 孝光	高田 英太郎	丹羽 勤	渡辺 善五郎	市田 弘	
引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分	引分
小島 八郎	高田 七郎	松村 泰二	安部 広三郎	堀田 清康	神浦 洸太	横山 力雄	太田 五郎	森岡 賢一郎	森岡 賢一郎	小林 正夫	岡本 三郎	曾田 義二郎	津戸 敏雄	三戸 敏正	花房 勝哉	村越 義一	中島 陽三郎	児玉 孝光	高田 英太郎	丹羽 勤	渡辺 善五郎	

八級の部

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23
山	山	山	馬	小	谷	谷	岡	長	長	横	島	中	加	塩	満	白	白	国	高	高	高
崎	崎	崎	場	沢	村	村	田	井	井	田	西	藤	山	留	井	井	東	田	田	田	田
				栄			英	次	二	実	仁	福	治			伝					七
		高	理	一								郎	郎	豊	保		仁	茂			郎
引	小	大	引	込	引	引	小	押	引	押	引	引	引	釣	引	引	押	移	引	合	足
分	内	外	分	腰	分	分	内	込	分	込	分	分	分	込	分	分	込	腰	分	技	払
竹	高	竹	山	馬	小	木	谷	岡	谷	田	横	島	中	加	塩	満	井	白	国	金	市
内	橋	内	崎	場	沢	崎	村	田	村	中	田	西	藤	山	留	上	井	東	原	原	一
修	幹	作		栄	匡	国	英	国	二	常		福	治			豊	伝	正			男
一	夫	治	高	理	一	一	郎	次	郎	司	実	仁	郎	郎	豊	保	明	仁	茂		彦

六級の部

七級の部

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	7	6	5	4	3	2	1	11	
野	秋	山	楢	早	莊	山	太	谷	谷	谷	松	松	岸	岸	野	丹	丹	清	石	竹	
原	元	崎	崎	津	英	崎	田	村	村	村	坂	坂	田	田	村	羽	羽	水	渡	内	
好	榮	正	富	英	門	三	三			嘉				陸	正		信	英		修	
三	三	泰	彦	司	次	四	四			一		進		男	吉		博	二		一	
引	弘	引	引	合	押	合	引	引	巴	大	引	押	内	巴	釣	押	左	弘	左	引	
分	腰	分	分	技	込	技	分	分	投	内	分	込	股	投	込	込	大	腰	腰	分	
高	野	秋	山	檀	早	莊	山	太	山	二	谷	鳥	荒	針	岸	野	外	丹	清	内	
木	原	元	崎	崎	津	英	崎	田	木	宮	村	羽	木	生	田	村	山	羽	水	藤	
慶	好	榮	正	富	英	門	三	三			嘉	志	茂	俊	陸	正	文	信		芳	
三	三	三	泰	彦	司	次	四	四	傳	正	一	郎		夫	男	吉	夫	博	守	房	

五級の部

14 ○高木 慶三郎 合技
 15 高木 昭勝 送足弘
 16 内海 昭勝 引分
 17 ○長井 誠太郎 大外刈

四級の部

1 坂本 和明 引分
 2 坂本 善次郎 押込
 3 松本 善次郎 引分
 4 大角 輝男 引分
 5 仁村 弘 引分
 6 鈴木 康吉 合技
 7 磯辺 晃平 引分
 8 佐野 繁 引分
 9 神谷 博八郎 絞技
 10 ○酒井 章夫 足弘
 11 △酒井 章夫 引分
 12 酒井 健夫 大外刈
 13 有川 健夫 引分

引分
 背負投
 大外刈
 内外刈
 寺田 喜久男
 石井 喜太郎
 ○渡辺 徹夫
 鈴木 善男
 村中 淳治
 ○有川 健夫
 窪田 羊三
 木村 太郎
 ○酒井 章夫
 神谷 博八郎
 佐野 繁
 ○磯辺 晃平
 鈴木 康吉
 仁村 弘
 大角 輝男
 ○松本 善治郎
 中沢 信夫
 黒川 正男
 長井 誠太郎
 ○内海 昭勝
 榎本 孝一

三級の部

5 ○寺田 喜久男 左払腰
 6 ○立岡 豊吉 大外刈
 7 ○立岡 豊吉 大外刈
 8 立岡 豊吉 引分
 9 児玉 一男 引分

二級の部

1 羽鳥 輝久 引分
 2 杉本 健造 送襟絞
 3 ○永浜 庄次 大外返
 4 永浜 庄次 引分
 5 守谷 一郎 引分

平素の勉励と進級月次試合の成績に依り進級せし者

八級へ 渡辺善五郎、津田義雄、高田七郎、白井伝仁、田

中常司

六級へ 野村正吉、岸内睦男

永浜 庄次
 ○永浜 庄次
 飯島 朝敏
 守谷 一郎
 羽鳥 輝久
 寺田 喜久男
 大塚 誠
 児玉 一男
 永田 幸治郎
 石渡 顕一

「関西遠征」

対神戸武徳会

九月四日

於 神戸武徳殿

本塾

武徳会

古屋幸三	兼子辰夫	箱田玄輔	○箱田玄輔	千住栄一	小西和夫	三野守亮	田中良平	熊谷	○熊谷	○熊谷喜徳	北川正次	山本繁太郎	近藤	笹間猶興	森本重利	横田作弥	先鋒	○横田作弥
移腰	足弘	合枝	裏投	引分	絞技	引分	引分	上四方	跳腰	弘腰	引分	跳卷	引分	逆技	引分	引分	大外刈	先鋒
○大野	○大野	○大野	友国	植岡	○植岡	木村	中野	○中野	香川	清野	吉田	○吉田	高橋	○高橋	久山	谷口	松下	武徳会

対大阪武徳会

九月五日

於 大阪武徳殿

本塾

武徳会

田中良平	千住栄一	熊谷喜徳	○熊谷喜徳	小西和夫	近藤	○近藤	山本繁太郎	森本重利	笹間猶興	北川正次	先鋒	大將	岡崎俊祐	毛利松平	○毛利松平	今川	○今川	佐久間知三	鳥海又六郎
引分	引分	崩上四方	左跳腰	合技	内股	横四方	左跳腰	左大外刈	引分	崩上四方	大將	左跳腰	引分	釣込腰	跳腰	大外落	引分	引分	弘卷
奥野	田中	○田中	杉本	○杉本	○杉本	武田	○武田	○武田	橋本	○橋本	武徳会	不戦大將	時岡	狩谷	○西村	西村	木下	徳田	小角

九級の部

1 花房勝哉
2 瑠璃川修
3 高橋正弘
4 岡本三郎
5 花房勝哉

引分 引分 合技 大外落 引分
瑠璃川修
高橋正弘
岡本三郎
花房勝哉
川頭力

進級月次試合

九月二十八日

三野守亮 崩上四方 引分 引分 引分
三野辰夫 引分 引分
兼子幸三 引分
古屋幸三 背負投
鳥海又六郎 左大外刈
○佐久間知三 崩上四方
佐久間 崩上四方
今川敏夫 引分
副将 引分
毛利松平 引分
大将 岡崎俊祐 引分
不戦 上田
不戦 井上
不戦 廣岡
不戦 西濱
不戦 西濱
不戦 東海
不戦 東海
不戦 浜地
不戦 和田
不戦 重光
不戦 山口
不戦 大将 鈴木
不戦 副将 鶴川
不戦 楠田

6 川頭義二力
7 曾田義一郎
8 曾田孝光
9 兒玉彦光
10 金原正彦
11 村越義一
12 村越義一
13 吉崎行雄
14 吉崎行雄
15 吉崎文二
16 田中
17 田中
18 松村泰二
19 神浦濤太
20 阿部宗三郎
21 森岡賢一郎
22 榎明
23 清留保
24 塩山豊
25 岡田太郎
26 岡田太郎
27 門倉光夫
29 西岡伝吉

引分 引分 引分 合技 袈裟固 引分 大外刈 腰投 引分 引分 引分 引分 不明 肩固 大外刈 背負投 引分 大外刈 引分 引分 引分 引分 引分 引分
曾田義二 三戸敏正 兒玉孝光 金原正彦 村越義一 北野隆盛 吉崎行雄 吉崎行雄 吉崎文二 田中陽三郎 高田英太郎 高田陽三郎 村松泰二 神浦濤太 阿部宗三郎 森岡賢一郎 榎明 清留保 塩山豊 岡田太郎 井上豊明 門倉光夫 西岡伝吉 国東茂

七級の部										八級の部										
2	1	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	35	34	33	32	31	30
○山崎	○山崎	竹内	調健	馬場	谷村	田中	白井	小田	木崎	高田	長井	○長井	津田	渡辺	横田	西村	○西村	小林	中西	国東
	高	作治	二理	健二	国一郎	常司	伝仁	博一	匡一	七郎	謙二	義雄	善五郎	実	桂之助	正夫	福太郎	茂		
小内刈	小内刈	引分	引分	引分	合技	引分	引分	押込	引分	引分	体落	合技	引分	引分	引分	引分	足弘	袈裟固	引分	引分
外山文夫	染山谷公	山崎	竹内	調健	○馬場	谷村	田中	○白井	小田	木崎	○高田	渡辺	長井	津田	篠崎	横田	滝沢	○西村	小林	中西
		作高	健治	健二	国一郎	常司	伝仁	博一	匡一	七郎	善五郎	謙二	義雄	孝三	実	貞彦	桂之助	正夫	福太郎	

五級の部										六級の部										
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木村太郎	磯辺晃平	神谷博八郎	△神谷	佐野	中沢	○中沢	長井	○長井	坂本	高木	○野原	早津	秋元	荏英	谷村	山崎	山本	太田	○榎村	野村
		繁	博八郎	繁	信夫	信夫	誠太郎	和明	慶三郎	好三	富司	榮三郎	英介	嘉一郎	門次	健	三四郎	正彦	正吉	
引分	引分	引分	引分	引分	押込	押込	弘腰	弘腰	引分	押込	合技	大内返	引分	引分	引分	引分	押込	引分	引分	弘腰
窪田羊三	木村太郎	磯辺晃平	○松本善治郎	神谷博八郎	○佐野	鈴木康吉	○中沢	内海昭勝	○長井	坂本和明	榎本孝一	○野原	早津	秋元	荏英	谷村	○山崎	山本	太田	○榎村
			善治郎	博八郎	繁	康吉	信夫	昭勝	誠太郎		孝一	好三	富司	榮三郎	英介	嘉一郎	門次	健	三四郎	正彦

四級の部

1	有川健夫	合技	○篠原恭敬
2	篠原恭敬	背負投	○渡辺徹夫
3	○渡辺徹夫	背負投	児玉一夫
4	○渡辺徹夫	背負投	永田幸治郎
5	渡辺	押込	○石井幸太郎
6	石井幸太郎	引分	立岡豊吉

三級の部

1	○中島讓治	押込	玉木徳七
2	○中島	大外刈	杉本健造
3	中島	釣込足	○羽鳥輝久
4	羽鳥輝久	引分	湯地貞俊
5	湯地貞俊	引分	神浦滯太

二級の部

1	守谷一郎	引分	茂木秀郎
2	茂木秀郎	大外刈	○勝丸熟
3	勝丸熟	引分	山田清三
4	山田清三	引分	峰岸豊雄
5	峰岸豊雄	大外刈	○内海啓勝
6	内海啓勝	押込	○菅原正幸
7	菅原正幸	引分	守谷一郎

平素の勉勵と進級月次試合の成績により進級せし者左

の如し。

九月三〇日

八級へ	高橋正弘、岡田太郎、田中文一、篠崎孝之、三戸敏正、岡本三郎、村越義一、椿 朱明、満留保、高田英太郎、井上豊明、滝沢貞彦、吉崎行雄、中島陽三郎、西村桂之助、金原正彦、児玉孝光、塩山 豊、花房勝哉、津田義雄、松村泰一、中西福太郎、曾田義二郎、神浦注太、西岡伝吉、横田 実、安部宏三郎、国東 茂
七級へ	山崎 高、調 健二
五級へ	野原好三、檜崎正彦、榎本孝一
四級へ	窪田羊三、木村太郎
三級へ	渡辺徹夫
一級へ	菅原正幸

本塾対法政大学对抗試合

十月十二日 於 綱町道場

本塾 法政

先鋒	木下三八郎	引分	先鋒	菅
水之江	公英	崩上四方	○久良地	
立脇	忠命	上四方	○久良地	
○加藤	幹夫	送懸絞	久良地	

大将	副将	○田	○熊	近藤	小西	横田	笹間	○笹間	関本	○本間	石橋	○石橋	○石橋	○石橋	○白井	○加藤							
古屋	羽鳥	田中	熊谷	藤喜	西和	田作	笹間	笹間	関本	本間	石橋	石橋	石橋	石橋	白井	加藤							
幸三	忠久	良平	喜徳	漸夫	弥夫	弥夫	猶與	準與		太郎				正記	博								
不戦 大将	不戦 副将	崩上 四方	崩上 四方	引分	大外刈	逆技	左大外刈	引分	逆技	合技	跳腰	大外刈	背負投	引分	背負投	合技	内股	内股	大外刈	縦四方	合技	跳腰	
菊地	田沢	○有馬	○有馬	山田	大西	大西	三井	○広勢	○広勢	○広勢	○広勢	堀	堀	平林	朝倉	朝倉	○蔭山	桜井	森井	○森	○森	伊藤	○伊藤

八級の部

進級月次試合

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
○竹内	○竹内	藤瀬	加藤	岡田	木崎	○木崎	神浦	安部	三戸	松村	○松村	△松村	井上	国東	○国東	高橋	渡辺	渡辺	中島
	作治	喜久雄	治郎	英次		巨一	滋太	広三郎	敏正		泰二	泰二	豊明		茂弘	正弘	善五郎	善五郎	陽三郎
送標紋	体落	引分	引分	引分	引分	大外刈	引分	引分	引分	引分	弘卷	引分	大外刈	引分	大内刈	引分	引分	引分	引分
長井謙三	西岡伝吉	竹内作治	藤瀬喜久雄	加藤治郎	岡田英次	森岡賢一郎	木崎巨一	神浦滋太	安部広三郎	三戸敏正	森村清	○松村泰二	塩山豊	井上豊明	金原正彦	中島陽三郎	高橋正弘	曾田義二郎	渡辺善五郎

十月十九日

五級の部			六級の部					七級の部										
3	2	1	6	5	4	3	2	1	2	1	28	27	26	25	24	23	22	21
内野	野原	野原	荘	荘	荘	太田	谷村	山本	山崎	高田	田中	田中	田中	田中	滝沢	横田	竹内	竹内
昭勝	好三	好三			英介	三四郎	嘉一郎	嘉一郎	七郎	七郎				常司	貞彦	実彦		
引分	引分	大外返	合技	引分	引分	引分	引分	引分	押込	払腰	引分	押込	左大外刈	合技	引分	引分	左返外刈	引分
高木	内海	橋崎	○山崎	早津	山本	荘英	太田	谷村	○山崎	染谷	成宮	篠崎	岡田	馬場	田中	滝沢	○横田	満留
慶三郎	昭勝	正彦	門次	富司	英介	三四郎	嘉一郎	嘉一郎	公高	公高	誠一	孝之	太郎	理司	常彦	貞彦	実保	保

三級の部			編入試合											四級の部							
2	1	○福	○福	9	8	7	6	5	4	3	2	1	10	9	8	7	6	5	4		
杉本	杉本	本	本	福	福	石井	篠原	寺田	石渡	鈴木	神浦	木村	窪田	磯辺	磯辺	佐野	坂本	坂本	坂本	高木	
健造	健造	友正	一男	○福	○福	幸太郎	恭敬	喜久男	顯一	善男	滋太	太郎	羊三	晃平	晃平	繁				和明	慶三郎
引分	引分	跳腰	跳腰	合技	引分	背負投	引分	引分	引分	上四方	引分	引分	大内返	大外返	引分	払巻	袈裟固	袈裟固	引分		
○羽	玉	篠原	鈴木	山岡	児玉	○石井	篠原	寺田	石渡	鈴木	神浦	木村	○神谷	松本	磯辺	○佐野	大角	長井	坂本		
輝久	木徳	恭敬	善男	嘉也	一男	幸太郎	恭敬	喜久男	顯一	善男	滋太	太郎	博八郎	善治郎	晃平	繁	輝夫	誠太郎	和明		

先鋒
 本塾
 勝丸 熟
 守谷一郎 内股
 輕部三郎 合技
 ○和田德藏 左大外刈
 ○和田 左大外刈
 ○和田 左大外刈
 和田 引分
 草田(初)

農大
 引分 先鋒 森
 ○木内
 ○木内
 木内
 横山(初)

十月二十六日 於 農大道場

本塾予科高等部対農大對抗試合

二級の部
 3 羽鳥輝久 引分 中島讓治
 4 羽鳥 引分 湯地貞俊
 5 ○湯池貞俊 引分 玉木徳七
 1 守谷一郎 引分 山田清三
 2 守谷一郎 引分 茂木秀郎
 3 茂木秀郎 左体落 ○勝丸 熟
 4 ○勝丸 一本背負 内海啓勝
 5 勝丸 引分 山田清三
 編入試合
 山口俊郎 引分 湯地貞俊
 福木友正 引分 羽鳥輝久

副將
 大将 ○古屋幸三
 副將 ○鳥海又六郎
 引分 引分
 背負投 背負投
 小川 小川
 三浦(3) 三浦(3)
 金丸(2) 金丸(2)
 北山(2) 北山(2)
 宮沢(2) 宮沢(2)
 ○宮沢(2) ○宮沢(2)
 李三浦(2) 李三浦(2)
 東白石(初) 東白石(初)
 清水(初) 清水(初)
 黒田(初) 黒田(初)
 島野(初) 島野(初)
 ○島野(初) ○島野(初)
 河村(初) 河村(初)
 ○河村(初) ○河村(初)
 奥田(初) 奥田(初)
 ○奥田(初) ○奥田(初)
 大外刈 大外刈
 跳腰 跳腰
 合技 合技
 小内刈 小内刈
 引分 引分
 袈裟固 袈裟固
 引分 引分
 引分 引分
 引分 引分
 背負投 背負投
 大外刈 大外刈
 大外刈 大外刈
 大外刈 大外刈
 大外刈 大外刈
 引分 引分
 裏投 裏投
 跳卷 跳卷
 引分 引分
 近藤 近藤
 熊谷喜徳(2) 熊谷喜徳(2)
 羽鳥忠久(3) 羽鳥忠久(3)
 副將 ○鳥海又六郎
 大将 ○古屋幸三

○古屋
 大外刈 大将 関川
 試合時間 大将七分 副将五分

第四十四回秋季大会

十一月十一日

幼年組 紅

先鋒 池田吉慶 大外刈 先鋒 ○谷村 国三郎
 児玉孝之 弘巻 ○谷村
 井上豊明 袈裟園 谷村
 井上 袈裟園 金原正彦
 井上 袈裟園 太田五郎
 井上 袈裟園 加藤治郎
 井上 袈裟園 神浦滋太
 安部広三郎 引分 長井謙三
 中西福太郎 大内刈 高田七郎
 中西 引分 国東茂
 森岡賢一郎 大外刈 国東茂
 岡田英二 引分 国東茂
 松村泰二 引分 国東茂
 岡田太郎 引分 国東茂
 滝沢貞彦 大外刈 白井伝仁
 滝沢 大外刈 白井伝仁
 大外刈 大外刈 横田実

白

成年組

先鋒 酒井(名不明) 小外刈 先鋒 ○小保福一郎
 森田正清 引分 小保福一郎
 酒井章夫 大外刈 大将 ○坂本和明
 酒井 大外刈 大将 ○坂本和明
 仁村 崩上四方副将 ○大角輝夫
 仁村 崩上四方副将 ○大角輝夫
 副将 ○仁村 弘 榎本孝一
 引分 引分 山崎
 太田三四郎 崩上四方 山崎
 山本 大外刈 山崎
 岸田 大外刈 山崎
 岸田 大外刈 山崎
 野村正吉 引分 早津富司
 野村正吉 引分 早津富司
 山崎 引分 谷村嘉一郎
 山崎 引分 谷村嘉一郎
 田中幸司 体落 ○秋元 柴三郎
 田中幸司 体落 ○秋元 柴三郎
 竹内修一 引分 荒木俊茂
 成宮 引分 針生健二
 成宮 引分 針生健二
 成宮 引分 針生健二
 馬場 引分 渡辺博
 伴正孝 引分 篠崎
 伴正孝 引分 篠崎
 滝沢 大外刈 ○篠崎 孝之
 滝沢 大外刈 ○篠崎 孝之
 滝沢 大外刈 ○篠崎 孝之

副将

横 田 作 弥	本 間 太 郎	森 本 重 利	笹 川 俊 夫	木 下	木 下	木 下	谷	谷	谷	猪 谷	猪 谷	内 海	峰 岸	山 田	松 内	乳 井	手 塚	石 井	笠 原	中 村	森 田	森 田
					三八郎				徳 蔵		甫 勝	啓 雄	豊 三	清 明	則 龍	善 康	幸 太郎	慶 太郎	慶 太郎	雄 次		

引 分	引 分	引 分	合 技	引 分	体 落	大 外刈	引 分	大 外刈	大 外刈	弘 腰	合 技	引 分	引 分	絞 分	引 分	上 四方	大 外刈	合 技	引 分	引 分	大 外刈	体 落
--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	---------	--------

副将

菅 井 良 助	三 野 守 亮	関 野	関 野	石 橋 正 準	加 藤 幹 夫	山 川 義 雄	勝 丸 熟 郎	守 谷 一 郎	軽 部 三 郎	軽 部 三 郎	神 浦 濤 太	福 本 友 正	内 海 通 勝	内 海 通	柴 田	柴 田	柴 田	柴 田	山 岡 進 吉	寺 田 嘉 也	寺 田 喜 久 男	島 田 稜
------------------	------------------	--------	--------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	--------	--------	--------	--------	------------------	------------------	-----------------------	-------------

段外の部

招待試合

大 将	副 将				○	○		永	石	篠	窪	神	鈴	山	内	長	檜	普通部		大 将	
永	小	玉	羽	渡	渡	渡	永	石	篠	窪	神	鈴	山	内	長	檜	普通部	普通部	普通部	近 藤	漸
浜	坂	木	鳥	辺	辺	辺	田	渡	原	田	浦	木	崎	海	井	崎	普通部	普通部	普通部		大 外刈
庄	俊	徳	輝			徹	幸	頭	恭	羊	滋	康	昭	昭	誠	正	普通部	普通部	普通部		大 将
次	雄	七	久			夫	治	一	敬	三	太	吉	泰	勝	太郎	彦	普通部	普通部	普通部	漸	○
																				大 外刈	小 西
引	腰	引	引	引	燕	背	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引	引
分	投	分	分	分	返	負	分	分	分	分	投	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分
		大	副																	先	先
		将	将							○										鋒	鋒
湯	湯	杉	中	児	立	有	木	神	佐	佐	磯	中	松	野	丸	山	山	山	山	山	山
池	池	本	島	玉	岡	川	村	谷	野	野	辺	沢	本	原	山	山	山	山	山	山	山
		貞	譲	一	豊	健	太	博	繁	繁	平	信	善	好	徳	徳	徳	徳	徳	徳	徳
		俊	治	男	吉	夫	郎	八				夫	治	三	三	三	三	三	三	三	三

商工学校

普通部対商工学校定期戦

初段の部

9	8	7	6	5	4	3	2	1	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
石	和	山	立	内	木	石	加	和	勝	渡	内	峰	茂	守	軽	永	湯	羽	中	篠	佐
橋	田	川	脇	海	下	橋	藤	田	丸	辺	海	岸	木	谷	部	浜	池	鳥	島	原	野
正	徳	義	忠	勝	三	正	幹	徳	熟	徹	啓	豊	秀	一	三	庄	貞	輝	讓	恭	繁
紀	蔵	雄	命	正	八	紀	夫	蔵	熟	夫	勝	雄	郎	郎	郎	俊	久	治	敬	敬	繁
内	左	引	引	縦	大	内	送	左	内	弘	引	引	引	大	横	合	紋	合	押	引	袈
股	大	分	分	四	外	股	襟	大	股	腰	分	分	分	外	四	技	技	込	分	固	固
鈴	谷	酒	池	大	河	太	田	熊	小	鈴	引	原	安	追	長	原	岡	福	小	栗	後
木	村	井	上	野	原	田	中	切	沢	木	莊	原	東	尾	田	義	岡	田	杉	原	藤
(日本中)	(講道館)	(土道館)	(日本中)	(国士館)	(国士館)	(国士館)	(講道館)	(三田署)	(日本中)	(日本中)	(明学中)	(日本中)	(日本中)	(明学中)	(明学中)	(青学中)	(清道)	(立正中)	(立正中)	(市立一中)	(市立一中)

二段の部

3	2	1	16	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10
古	羽	田	北	菅	本	久	山	横	近	小	関	大	近	三	森	峰	秋	木	立	加
屋	鳥	中	川	井	間	繁	本	田	藤	西	閑	沢	藤	野	本	岸	山	下	脇	藤
幸	忠	良	正	良	太	善	繁	作	和	和	準	克	克	守	重	正	三	三	忠	幹
三	久	平	次	助	郎	則	郎	弥	夫	夫	夫	夫	夫	亭	利	猛	八	八	命	夫
大	引	引	引	釣	引	合	釣	袈	一	釣	足	引	送	引	縦	縦	大	釣	送	送
外	分	分	分	込	分	技	込	袈	本	込	払	襟	襟	分	四	四	内	込	襟	襟
刈	分	分	分	腰	分	技	足	固	背	足	払	分	分	分	方	方	刈	足	足	足
	小	福	乘	鈴	嘉	岡	吉	宗	田	高	北	石	渡	浜	山	原	八	龜	池	池
	長	島	橋	木	敷	岡	田	柄	村	木	山	井	辺	田	田	子	山	山	上	田
	井	島	橋	木	敷	岡	田	柄	村	木	山	井	辺	田	田	子	山	山	上	田
	(日本中)	(国士館)	(国士館)	(土道館)	(中大)	(立正)	(国士館)	(中大)	(水産講)	(水産講)	(農大)	(三田署)	(国士館)	(国士館)	(皇警)	(国士館)	(国士館)	(国士館)	(立正大)	(土道館)

4 ○鳥海 又六郎 巴投 小林(国土館)
 5 塩田雄一 引分 関川(農大)
 6 佐久間知三 引分 野中(中大)
 7 今川敏夫 引分 菅生(皇警)
 8 ○鳥海 又六郎 大外返 竹中(早大)

復活第一回 早稻田高等学院 对抗柔道戦
 慶応予科高等部

十一月十八日(日) 於 講道館

審判 橋本正次郎七段

本塾

早稻田

先鋒 和田徳藏(勲) 大外返 先鋒 ○坂本真啓(勲)
 水之江 公英(勲) 引分 坂本
 ○木下 三八郎(勲) 体落 山内三郎(勲)
 木下 引分 大池小太郎(勲)
 笹間 猶興(2) 合技 山田常和(勲)
 間 準(2) 合技 ○山田
 横田 作弥(2) 引分 ○山田
 熊谷 喜徳(2) 引分 ○磯田
 菅井 良助(2) 引分 磯田 静雄(2)
 ○三野 守亮(2) 崩上四方 崩上四方
 三野 引分 崩上四方 崩上四方
 村上武司(2) 鈴木正(2) 磯田野 静雄(2)

本間太郎(2) 引分 坂本政雄(2)
 小西和夫(2) 大外返 天野三郎(2)
 小西 体落 笠原実(2)
 小西 崩裂姿 青山順(2)
 森本重利(2) 背負投 青山(2)
 近藤 漸(2) 釣込背負 青山(2)
 北川 正治(2) 合技 青山(2)
 北川 内股卷 尾崎稻穂(2)
 吉田 弘卷 尾崎(2)
 羽鳥 忠久(3) 引分 尾崎(2)
 鳥海 又六郎(3) 跳腰 河原田新平(2)
 古屋 幸三(3) 釣込腰 ○岡庭正義(2)
 塩田 俊祐(4) 引分 ○岡庭
 副将 大将 岡庭 真穂(2)
 岡崎 小外刈 山田 真穂(2)
 岡崎 十字固 今井 郎(3)
 岡崎 内股 鈴木 正(3)
 岡崎 大内返 三田 正彦(3)
 岡崎 引分 大内返 大内返 大将 永光 伝(4)

記事

第一回の早高第一・第二学院対慶応予科高等部柔道戦に就て、講道館発刊の雑誌『柔道』第六卷第一号は、その戦績を次の様に誌している。

主催者は早稲田第一・第二学院及慶応予科高等部の柔道部にして、後援者読売新聞社より優勝旗の寄贈あり、試合は午後六時早稲田の吉川部長の挨拶に依って開始さる。慶応軍は大将四段岡崎君以下三段四名二段一〇名初段三名、早稲田軍は大将四段永光君以下三段四名二段一名初段四名双方二〇名堂々の陣を擁して対戦し、前半早の山田君活躍して早稲田優勢を示したが慶の中堅小西君出て互格となる。早軍は青山君、尾崎君、岡庭君を陣頭に送って次第に慶応軍を蚕食し、遂に慶軍大将岡崎君立つ、岡崎君は憤然早稲田の本陣に突入して縦横無尽に斬りまくり早軍大将永光君と引分く。早稲田軍は終始庄迫を続けたが遂に覇成らず、慶応軍危ふかりしも際どいところで喰いとどめ、両虎共に傷つかず優勝旗は遂に預かりとなる。